



忘年会



第122号
発行

〒970-8003
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地
TEL (0246) 23-5311
FAX (0246) 23-5312
はまぎく荘新聞編集委員会
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>
E-mail: kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp

●紙面紹介●

- 1面 忘年会／遠足
- 2面 秋祭り／芋煮会
クリスマス会
- 3面 男女棟改修工事
体育館・作業場
小島保育園
- 4面 はまぎく荘のうごき
編集後記

今年度はパレスいわやでの忘年会でした。

まず、スライドショーとお洒落な食事を楽しみました。自分の写真を見つけるたびに「私だ」と嬉しそうに話す様子が見られました。

次に、余興を二つ。定番となった紅白歌合戦では、男女四人ずつの利用者が職員手作りの衣装を身にまとい一生懸命歌いました。歌ってくれた利用者も、応援している利用者も、見守りながら一緒に応援している職員も、みんなで一番もりあがった時間でした。

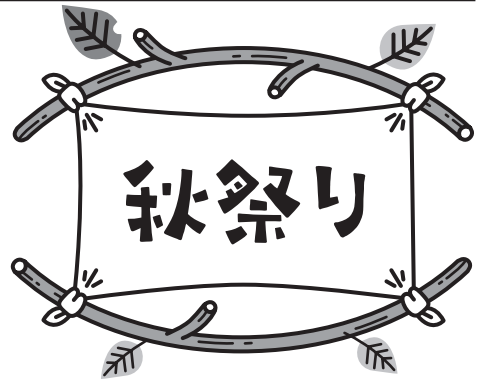
○×クイズでは、はまぎく荘に関する問題をテーブルごとに毎回話し合い○×札で答えました。難しい問題もありましたが、思っていたよりも正解が多かったです。

三年ぶりの外の会場での忘年会は、コロナ禍もあり、ギ

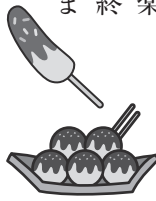
コロナ禍で久しぶりの、全員揃っての外出となった令和四年度の遠足は、フラワーセーターでした。ベゴニアやブーゲンビリアなど綺麗に花が咲く中や、バナナの木などのあるハウス内などを散策して周り、たくさんの笑顔がみられました。実習生が行う手遊びや、レクリエーションを皆で行い、身体を動かしたり、室内で過ごした方も、「桃太郎」や「ぐりとぐら」などの絵本、紙芝居の読み聞かせを聞きながら内容に聞き入っていました。楽しみのお弁当は、色とりどりのちらし寿司で、リギリまでどうすべきか迷いましたが、利用者の笑顔をたくさん見る事が出来たことで、開催して良かったと感じる事が出来ました。来年度は、コロナが少しでも落ち着き、より安心して行事が出来る環境になってほしいと思います。



「美味しかった」と満足の様子でした。コロナが流行する度に、今回は外出できるのだろうか、皆揃って出かけるのは難しいのだろうかと思いを悩ませてしまいましたが、タイミングや方法を変え実施することで、コロナ禍に負けない皆さんの笑顔を見る機会が、今後も作っていったら良いと思います。



毎年恒例となっている夏祭りが新型コロナウイルスの影響で延期となり、今年度は秋祭りとして九月二十二日に施設内で行われました。夕方開催ということもあり気温も涼しく、神輿の周りでいわき踊りを全員で踊りました。輪投げやクジ引きなどのゲームもそれぞれ楽しみ、景品がもたらえた喜びの笑顔で溢れていました。夕食には祭りの定番である焼きそばやたこ焼きが出た他、チョコバナナやかき氷も楽しみました。最後には全員で花火を楽しみ、夏の終わりを感しました。



クリスマス会





十二月二十三日にみんなが待ちに待ったイベント、クリスマス会を行いました。



ト、クリスマス会を行いました。男女合同で行う予定でしたが、コロナ禍ということもあり、男女分かれての実施となりました。クリスマスケーキを食べ

べた後は、職員サンタからのプレゼントタイム☆みんな笑顔で嬉しそうで見ているこちらまで嬉しくなります。コロナ禍で色々な行動が制限される中で、少しでも利用者さんが楽しめるよう、これからも試行錯誤をしていきたいです。来年は、例年通り男女合同でクリスマス会を実施したいですね。

芋煮会



今年の芋煮会は『スポーツの秋』をテーマにみはま体育館で行いました。準備体操のラジオ体操から始まり、栗拾いゲームやボウリング、フライングディスクなど、楽しみながら身体を動かしました。特に背負い玉入れでは、実習生の男子学生にカゴを背負ってもらい、利用者の皆さんは夢中になって実習生を追いかけて玉を投げ入れていました。身体を動かした後



は待ちに待った昼食の時間です。芋煮会恒例の豚汁を味わい『食欲の秋』も楽しみました。早く新型コロナウイルスが



落ち着き、以前のようにご家族と一緒に芋煮会が楽しめるようになることを心待ちにしております。



男女棟改修工事

洋室二部屋の壁紙と床、廊下とダイルールの壁紙と床を新しく張り替えました。洋室の二部屋は、二人の職員がそれぞれプロデュース。出来上がると違った良さがあり、雰囲気が変わりました。ダイルームや廊下は、今後絵画などを展示できるように工夫していきたいと思っております。流行り病が落ち着いた頃には、是非ともご見学にいらしてください。

女子棟の改修工事を八月末に行いました。洋室三部屋とダイルーム、廊下の壁紙と床を新しくしました。ダイルームと廊下の壁紙は白と薄いピンクが入った壁紙にし、廊下の床も白っぽい明るい色にして、女子棟全体が明るく広々とした印象になりました。洋室の三部屋はそれぞれ違った花柄の壁紙にしました。黄色い花の部屋、濃いピンクの花の部屋、水色の花の部屋で、華やかな雰囲気になりました。利用者さんにも「かわいい。」「おしゃれだね。」



女子棟



男子棟

さい。建物は古いけど……」「中は意外とキレイなのね」と思ってもらえるはずですよ。

女子棟の改修工事等の言葉が聞かれ、気に入っていただけたようです。建物だけではなく、私たち職員が気持ちも新たに、利用者さんが過ごしやすい環境を提供できると思っています。

体育館・作業場

昭和六十二年に建てられた『みはま体育館』。トイレを様式トイレにするなどの小さな改修はしてきましたが、塗装がはがれてしまったり雨漏りしてしまったりと、不具合が生じてきました。令和元年の水害の時は地域住民の方が避難され、また、地域の幼稚園からも「災害時における一時避難所」として使用したいとの申し出があったこともあり、外壁や屋根などの改修工事を行いました。見た目もきれいになり、安心して使えるようになりました。



小島保育園

7月

また、みはま福祉祭りでもおなじみの作業場も改修工事を行いました。「みはま愛護の会」よりご寄付いただき、すこししやすい作業場となりました。

小島保育園

9月

した。夏暑く、冬寒かった作業場でしたが、今はきれいで暖かい作業場で日中活動を行っています。ありがとうございます。



七月、小島保育園との芋ほり交流会を行いました。畑の畑は土壌の状態など農作業が難しい事情もあり、はまなす荘元所長・庄司さんのご厚意により、ご自宅のじゃがいも畑で交流会を開催させていただきました。はまぎく荘からは五人の利用者が参加し、元気いっぱいな二十二人の園児たちとカゴいっぱい収穫できました。じゃがいもは後日、給食のポテトサラダに変身。おいしくいただき、ご協力いただいた庄司さんに感謝します。つかの間の交流会でしたが、ひと夏の思い出になりました。

秋と言えば……食欲の秋、芸術の秋、でもやっぱり、運動の秋。九月、小島保育園との交流会を行いました。七月はじゃがいも掘りに園児の皆さんを招待しましたが、今回は反対に園の運動会練習に招待していただきました。平体育館にて、太陽組・月組・星組の皆さんによる競技の練習の成果を見学した後、一緒に競技に参加して楽しい時間を過ごしました。最後はおみやげにお菓子でできたネットワークもいただき、利用者の方々の皆さんも嬉しそうなお表情。この日は秋晴れで、程よく身体も動かし気持ちの良い一日でした。



Movement of Hamagiku-so

はまぎく荘の
うごき



異動職員



エデンの家より
異動
支援員 中根 亮太

この度、エデンの家から異動してきました。中根亮太です。生まれも育ちもいわきです。学生時代はバスケットボールをずっとやっています。なので特技はバスケットボールです。趣味は、読書・ゲーム・アニメ鑑賞・音楽鑑賞・ライブに行くことです。はまぎく荘での意気込みとしては、エデンの家は通所

施設で主に身体障がいの方が利用されていましたが、はまぎく荘は入所施設で知的障がいの方が主なので、新しく勉強しなくてはいけないことが多いと思いますが先輩方を頼って勉強させてもらおうと思っています。しかし、社会人になってからはまぎく荘が三施設目ですので今までの経験を活かし皆さんに刺激を与え一緒に楽しみながら日々努力していきます。一日でも早く皆さんに信頼される職員になるように努めてまいりますのでよろしく願います。

退所利用者



三瓶徳子さん



令和四年
九月六日付
で、三瓶
徳子さんが

『はまぎく荘』を退所され、自分の家の近くにある病院へ移られました。面倒見がよく他の利用者や職員の様子を気にかけてくれ、困っている人がいれば、いつも助けてくれる方でした。私がはまぎく荘で働き始めた時も、わからない事を教えてくれたり手助けをしてく

れ、とても安心して仕事に取り組めた事を覚えています。また、お話が大好きで、その日の出来事や楽しかった事をいつも教えてくれました。絵を描くのも好きで、職員の顔を描いてくれたり、作品展に応募するよう大きな絵を描いてくれる事もありました。編み物も大好きで、根を詰めてしまう事もありましたが、出来たものは皆にプレゼントをしてくれるような優しい方でした。新しい生活でも好きな事をして笑顔で過ごせるよう願っています。

秋の収穫祭



十一月二十四日、さわやかな秋晴れの中、今年度最後の面会日が行われました。新型コロナウイルス第八波流行中という事もあり、ご家族との交流はなく密を避ける為男女別での実施となりました。それでもゲームに声を出して一喜一憂し、楽しみながら参加してくれました。

ここ数年新型コロナウイルスの為、外出や帰省の機会が減り利用者の皆さんの楽しみが少なくなってしまうのですが、今回の『秋の収穫祭』と銘を打った面会日のように一つでも多くの楽しみを提供

して、利用者さんの笑顔を見ていき
たいな
と心新
たにし
ました。



車イス寄贈



今年もトヨタカローラいわき株式会社様より、車椅子を寄付していただきました。青空のような真っ青なシートとなっており、福祉車両にもジャストサイズでした。今回頂いた車椅子は、トヨタで出たホイールなどのアルミを集めりサイクルされたものだからです。利用者さんに試乗して頂くと、最初は不安そうな顔で座っていましたが、数メートル進むと「良いわ」と笑顔も見られました。コンパクトな車椅子は軽量で押して

いる側にも負担が少ないように感じました。はまぎく荘は高齢の方も多く、これから使う機会も増えて来ると思いますが、大切に使用させていただきます。トヨタカローラいわき株式会社のみなさん、ありがとうございました。



編集後記

今年も新型コロナウイルスが流行中ですが、「遠足」「秋祭り」「忘年会」と外で思いっきり楽しめる行事が行えてよかったと思います。マスクをしないで過ごせるあの頃にいつ戻れるのか。今年も元気に過ごせますよう、頑張ってくださいませよ。

広報誌「はまぎく」一二二号で高覧ください。

